

古平町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

古平町は北海道西部、積丹半島の東側に位置し、人口は2,592人(令和6年11月末現在)で、65歳以上の高齢化率は44.9%と過疎化・高齢化が進んでいる状況にあります。

当町の地域公共交通においては、幹線系統として一般バス路線が運行しているものの、国道229号を運行する路線であり、自宅からバス路線までアクセスしにくい地域が散見されている状況にあります。

また、従前は定時定路線型の無料コミュニティバスのみ運行していましたが、利用実態とサービス水準の乖離が生じており、現状の人口動態、配置に即した町内交通の拡充が必要となっていたことから、コミュニティバスを再編した上で、新たにデマンドバスを組み込んだ運行形態で実証運行を実施し、令和5年10月から本運行を開始したところであります。

更に、地域内公共交通の確保・維持する上での行政の財政負担も課題となっていたことから、現在はコミュニティバス、デマンドバスそれぞれで運賃を頂戴している他、地域公共交通確保維持改善事業を活用し、事業展開しているところです。

生活交通確保維持改善計画の目標

【利用者数】

・コミュニティバス:44.7人/日以上 ・デマンドバス:1.2人/日以上

【運行収入・支出等】

・コミュニティバス:116,400円/年以上 ・デマンドバス:278,400円/年以上

・古平町の支出:20,328,000円/年以上

【収支率】

・町内交通の収支率:1.9%以上

地域公共交通の現況

- ・北海道中央バス(株) ※地域間幹線2路線
- ・スクールバス(古平町) ※2路線

協議会開催状況

- ・令和6年3月29日 令和5年度第3回協議会を開催(書面)
 - (1)令和5年度事業報告及び収支決算について
 - (2)令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- ・令和6年6月27日 令和6年度第1回協議会を開催(書面)
 - (1)令和7事業年度地域公共交通確保維持改善事業補助金(フィーダー補助)の申請内容について
- ・令和6年8月30日 令和6年度第2回協議会を開催(書面)
 - (1)自家用有償運送による通学支援を含めた地域公共交通の運行の開始について
 - (2)令和6年度古平町地域公共交通活性化協議会収支予算の補正について
- ・令和6年12月27日 令和6年度第3回協議会を開催(書面)
 - (1)乗合タクシーの運行内容の変更について
 - (2)地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の実施について

令和6年度事業概要

【運行系統名】

- ①コミュニティバス
- ②デマンドバス

【運行区間】

- ①温泉前～旧消防庁舎前～海のまちクリニック前
- ②町内

【運行便数】

- ①7便
- ②8:30～17:30の間で前日までの予約に応じて運行

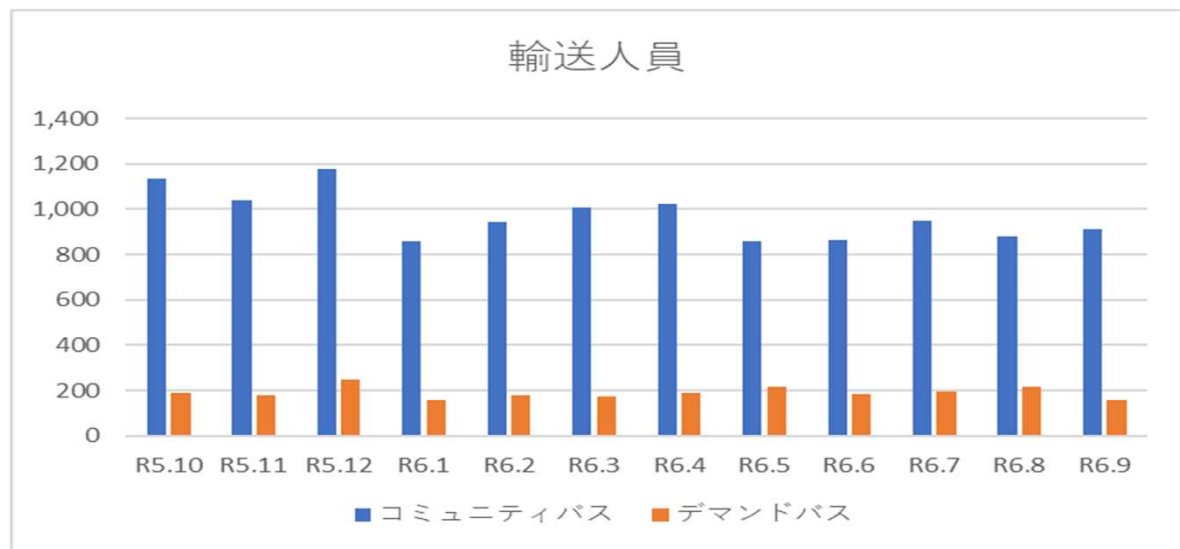
【運賃】

- ①1乗車100円 ただし、65歳以上、保護者同伴の中学生以下は無料
- ②片道200円 ただし、保護者同伴の中学生以下は無料

3) 利用実績

	輸送人員 (人)	
	コミュニティバス	デマンドバス
R5.10	1,134	187
R5.11	1,041	181
R5.12	1,177	246
R6.1	860	155
R6.2	943	179
R6.3	1,010	176
R6.4	1,025	189
R6.5	859	216
R6.6	864	185
R6.7	950	197
R6.8	880	217
R6.9	914	156
合計	11,657	2,284

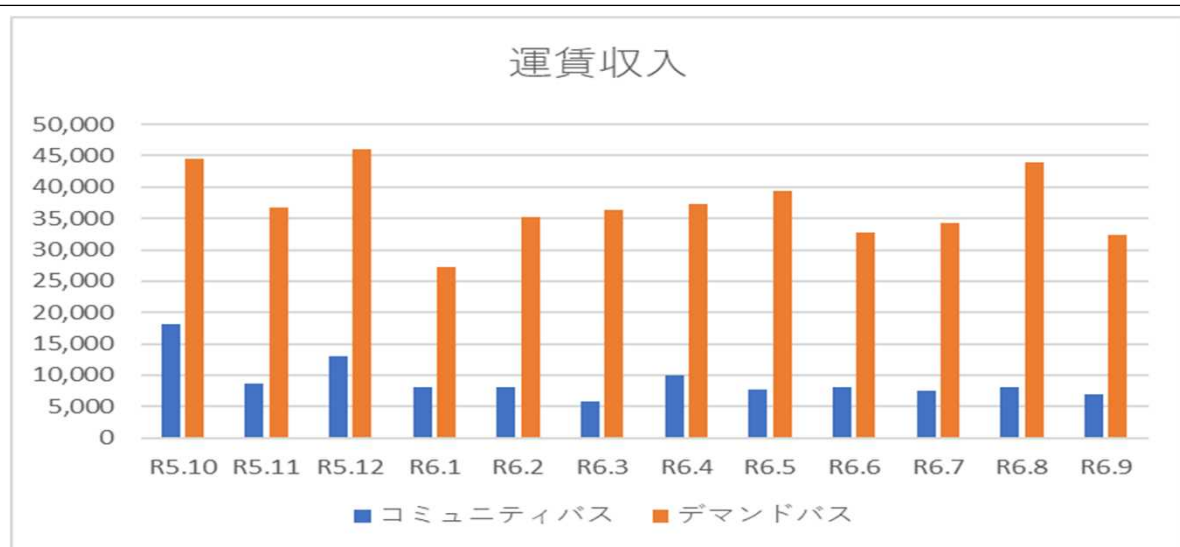
※令和6事業年度が事業実施初年度



4) 収入実績

	運賃収入 (円)	
	コミュニティバス	デマンドバス
R5.10	18,100	44,500
R5.11	8,600	36,800
R5.12	13,000	46,000
R6.1	8,100	27,300
R6.2	8,100	35,200
R6.3	5,900	36,400
R6.4	10,000	37,300
R6.5	7,800	39,400
R6.6	8,100	32,700
R6.7	7,500	34,300
R6.8	8,000	44,000
R6.9	6,900	32,400
合計	110,100	446,300

※令和6事業年度が事業実施初年度



5) 事業実施の適切性

月曜日から土曜日に7便/日のコミュニティバスを運行することにより住民ニーズの高い温泉施設や町内主要施設への移動や地域間幹線交通への接続を計画通り実施できた。

また、一般バス路線及びコミュニティバスの利用が難しい交通空白地の生活の足を確保するため新たにデマンドバスの運行を開始し、新たな形で地域内公共交通を展開することができた。

7) 事業の今後の改善点

デマンドバスに関しては、使いやすく助かるという利用者からの意見がある一方で、乗降場所や当日予約など利便性がもう少し高まればよいという声もあることから、これらを検討する。

6) 目標・効果達成状況

【利用者数】

①コミュニティバス

目標値:44.7人/日

実績値:39.8人/日

②デマンドバス

目標値:1.2人/日

実績値:8.2人/日

⇒コミュニティバスに関しては5人程度目標を下回る結果であったが、一方、デマンドバスに関しては目標を大きく上回った。要因としては、デマンドバスの運行開始により、コミュニティバスより利便性の高いデマンドバスの利用が高まったものと考えられる。

【運行収入】

①コミュニティバス

目標値:116,400円/年以上

実績値:110,100円/年

②デマンドバス

目標値:278,400円/年以上

実績値:446,300円/年

⇒想定利用者数より増減したことにより、コミュニティバスの収入に関しては若干目標を下回ったが、デマンドバスの収入に関しては目標を上回った。

【町の支出】

目標値:20,328,000円/年以内

実績値:20,328,000円/年

【収支率】

目標値:1.9%以上

実績値:2.7%

⇒デマンドバスの利用が多かったことから目標値を上回った。

8) 地方運輸局等における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・コミュニティバスの目標を達成することができなかったが、引き続き利用者増に向けて、関係機関との連携強化や各種情報発信により効果的な周知を行う等、利用促進につながる取組を期待する。